



# 2018年10月期 決算説明資料

2018年12月

東証JASDAQ 証券コード3974

株式会社 ティビィシー・スキヤット

# Marketing & Innovation

---

1. 会社概要
2. 決算ハイライト  
2018年10月期 実績
3. 株主還元について
4. 2019年10月期業績見通し・計画
  - ①美容サロン向けICT事業
  - ②中小企業向けビジネスサービス事業
  - ③介護サービス事業



# 会社概要

---

TBCSCATは、ICTを活用し中小企業の経営をサポートするソリューション・カンパニーです。

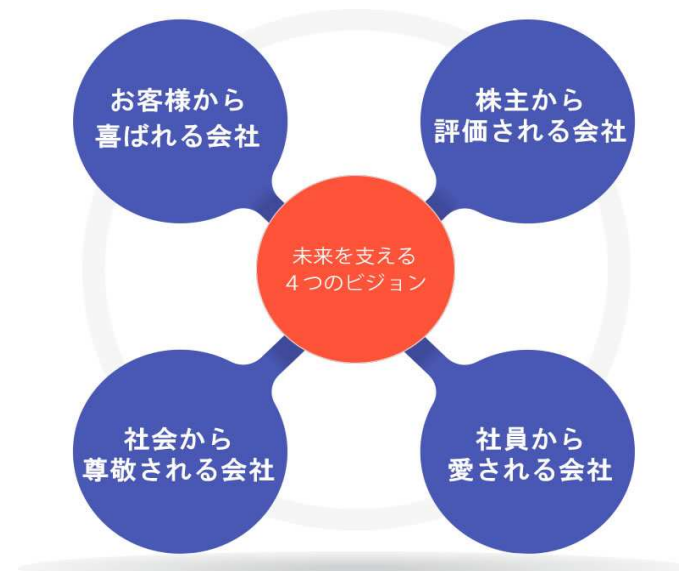
## 基本情報

名 称	株式会社ティビィシィ・スキヤット
設 立	1969年12月設立
資 本 金	2億円
代 表	代表取締役社長 安田 茂 幸
小 山 本 社	栃木県小山市城東1-6-33
東 京 本 社	東京都中央区日本橋本町3-8-4
従 業 員 数	連結約250名 (2018年10月末)
売 上 高	連結2,639百万円 (2018年10月期)
事 業	美容サロン向けICT事業 中小事業向けビジネスサービス事業 介護サービス事業
子 会 社	TBCシルバーサービス株式会社 (介護) VID株式会社 (美容ICT)

## 使命・理念

ICT技術の提供による、中小企業への経営支援を通じた社会貢献

常に新しい商品、新しいサービスの開発に挑戦し、顧客の創造を事業目的とする。



TBCSCATは、継続して成長を続けるために、企業価値の向上を図ると共に、常に変化への対応が必要と考えております。



## 美容サロン向け I C T 事業

- 1986年に美容サロン専用コンピューターを発売して美容業界に参入。常に「**美容業界で初めてのシステム**」を多数発売し、多くの実績を有する。
- 2018年3月、V I D株式会社をTBCSCATの完全子会社とし、5月より連結会計開始。

### スキヤット (株)

Strategic Computer  
Application  
Technology

1981年 設立  
業歴：35年以上

### V I D (株)

2016年 設立  
業歴：約10年

2018年3月  
グループ加入

1991年  
合併

TBCSCAT 株式会社 ティビィシィ・スキヤット

### (株) ティビィシィ

Total Business  
Consulting

1969年 創業  
業歴：50年超

2006年11月グループ加入：12年

### TBCシルバーサービス (株)

2004年 設立

## 中小企業向け ビジネスサービス事業

- 栃木県を中心に、中小企業向けに会計サービス・経営支援事業を展開

## 介護サービス事業

- 栃木県、群馬県、長野県において、介護付き有料老人ホームを運営



# 決算ハイライト

---

2018年10月期 決算実績



全社

「Marketing & Innovation」をテーマに顧客ニーズの把握と顧客満足度向上のための新しい商品・サービス開発に注力

売上高：2,639百万円 前期比 2.6%増  
営業利益：173百万円 前期比 14.7%増

美容サロン  
ICT

新規販売、特に他社ユーザーからの乗換好調。  
M&AによるVID社連結開始。(VID社の黒字化)

売上高：1,537百万円 前期比 4.2%増  
営業利益：85百万円 前期比 38.3%増

ビジネス  
サービス

ITを活用したビジネスモデル構築の前倒し。  
業績は、足踏み状態。会計サービスは安定利益確保。

売上高：340百万円 前期比 3.6%減  
営業利益：8百万円 前期比 14.5%減

介護  
サービス

介護付き有料老人ホームの高い入居率維持(年間95%超)  
猛暑に伴いディサービス・ショートステイの稼働が好調。

売上高：742百万円 前期比 2.4%増  
営業利益：70百万円 前期比 9.3%増

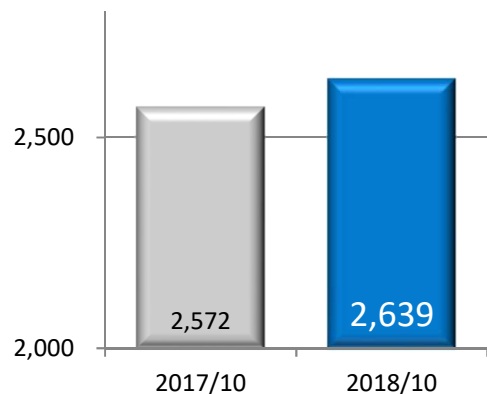


# 2018年10月期 決算概要 (連結PL)

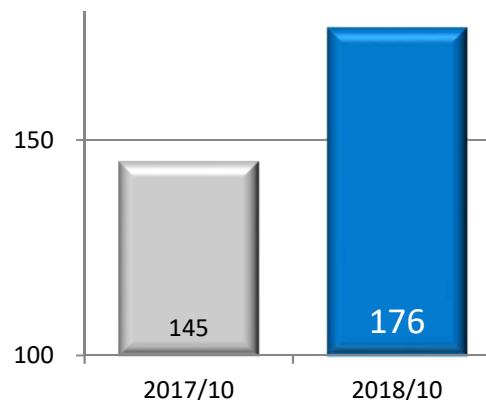


(単位：百万円)

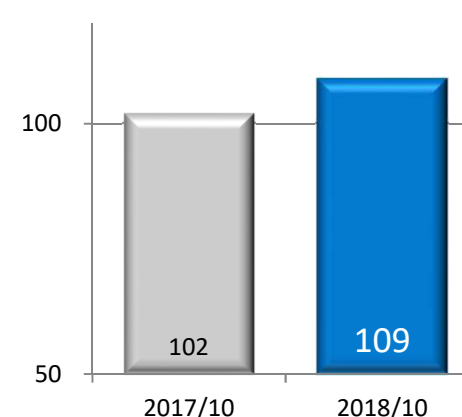
《連結売上高》



《経常利益》



《当期純利益》



(単位：百万円、%)

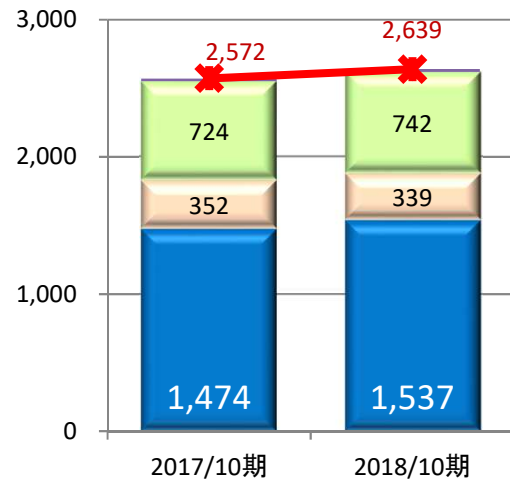
	2017/10期 実績	2018/10期 実績	前年同期比 増減率
売上高	2,572	2,639	2.6%
売上原価	1,525	1,534	0.6%
売上総利益	1,047	1,105	5.5%
(売上総利益率)	40.7%	41.9%	-
販管費	896	931	4.0%
営業利益	151	173	14.7%
(営業利益率)	5.9%	6.6%	-
経常利益	145	176	21.2%
(経常利益率)	5.7%	6.7%	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	102	109	6.7%



# セグメント別損益（2期比較）

## 《セグメント売上高》

単位：百万円



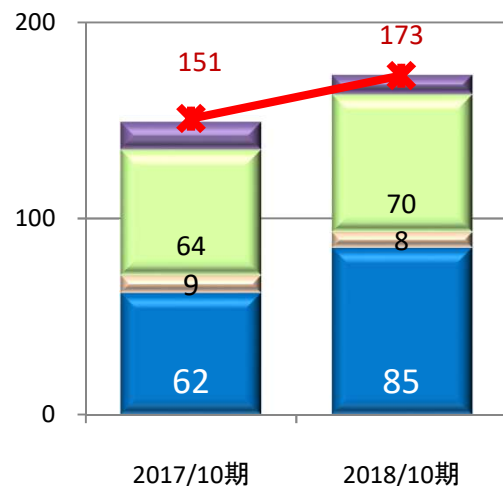
美容サロン向けICT事業	(ICT)
中小企業向けビジネスサービス事業	(BS)
介護サービス事業	(介護)

単位：百万円

	2017期	2018期	前年同期比
	実績	実績	増減率
美容ICT事業	1,474	1,537	4.2%
ビジネスサービス事業	352	339	△3.6%
介護サービス事業	724	742	2.4%
その他	20	20	0
<b>合計</b>	<b>2,572</b>	<b>2,639</b>	<b>2.6%</b>

## 《セグメント営業利益》

単位：百万円



単位：百万円

	2017期	2018期	前年同期比
	実績	実績	増減率
美容ICT事業	62	85	38.3%
ビジネスサービス事業	9	8	△14.5%
介護サービス事業	64	70	9.3%
その他	14	8	-
<b>合計</b>	<b>151</b>	<b>173</b>	<b>14.7%</b>

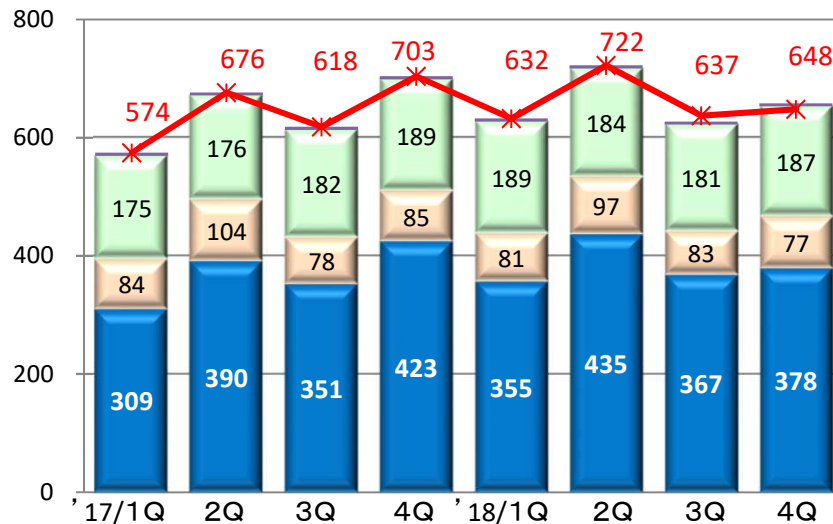


# セグメント別四半期趨勢 ( Q on Q )



## 《セグメント売上高》

単位：百万円



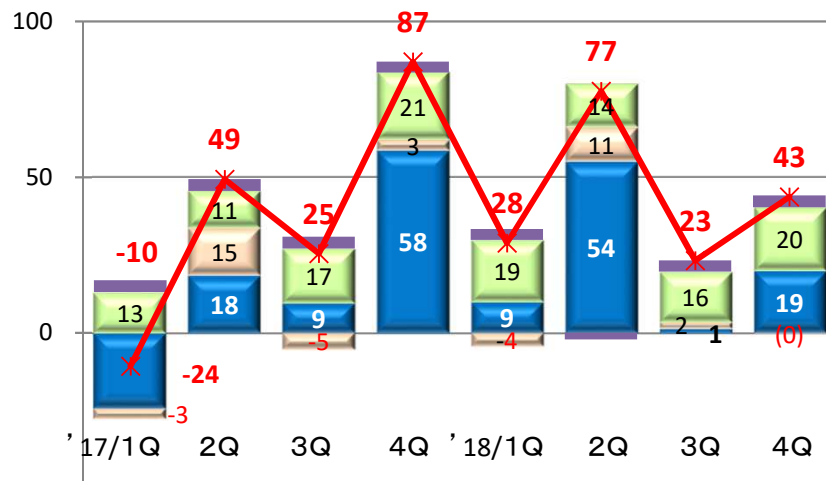
単位：百万円

	2017/10				2018/10			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
ICT	309	390	351	423	355	435	367	378
BS	84	104	78	85	81	97	83	77
介護	175	176	182	189	189	184	181	187
他	5	5	5	5	5	5	5	5
合計	574	676	618	703	632	722	637	648



## 《セグメント営業利益》

単位：百万円



単位：百万円

	2017/10				2018/10			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
ICT	△24	18	9	58	9	54	1	19
BS	△3	15	△5	3	△4	11	2	△0
介護	13	11	17	21	19	14	16	20
他	3	3	3	3	3	△2	3	3
合計	△10	49	25	87	28	77	23	43

## 利益増による現預金増と、子会社株式取得による、資産・負債の増加

(単位：百万円)

	2017/10期	2018/10期	差異	差異要因
流動資産	1,706	1,717	11	営業活動による現預金増
現預金	1,402	1,432	30	
売掛金	205	221	16	
固定資産	1,581	1,671	90	
有形固定資産	1,279	1,263	△16	
無形固定資産	149	247	98	
ソフトウェア	131	93	△38	商品リリースに伴う償却
ソフトウェア仮勘定	12	38	25	商品開発へ投資
のれん	0	111	111	子会社株式取得（VID社）
その他資産	152	160	8	
資産合計	3,287	3,388	101	

	2017/10期	2018/10期	差異	差異要因
負債	1,335	1,355	20	
流動負債	361	436	74	1年以内返済予定借入金、未払税額等の増加
固定負債	973	919	△54	子会社（介護）借入返済、
純資産	1,952	2,033	81	利益剰余金の増加
株主資本	1,952	2,033	80	－
利益剰余金	1,662	1,743	80	営業活動による利益増、配当金支払による減少
資産合計	3,287	3,388	101	



## 営業キャッシュの増加で、投資キャッシュM&A資金を賄えた

(単位：百万円)

項目	2017/10	2018/10	要因
営業キャッシュ・フロー	223	308	当期純利益及び償却費
投資キャッシュ・フロー	△95	△195	子会社株式取得、ソフトウェア開発ほか
財務キャッシュ・フロー	173	△83	長期借入金返済・配当金支払
現金及び現金同等物の増減額	300	29	
現金及び現金同等物の期首残高	1,101	1,402	
現金及び現金同等物の期末残高	1,402	1,432	



# 株主還元について

---



## ■ 株主優待制度の導入を決定

- **定期優待制度**の導入（2019年10月末日基準の株主様より贈呈開始）

100株以上所有の株主様に1,000円相当のクオカードを贈呈

- **特別優待**（上場2周年記念配当）の実施（2019年4月末日の株主様へ贈呈）

## ■ 安定・継続した株主配当の実施

- 安定した株主配当を継続して行うことが、ご支援いただいている株主の皆様への利益還元であると考えております。

	2015/10期	2016/10期	2017/10期	2018/10期
1株あたり当期純利益	87.15円	112.31円	72.61円	75.97円
1株あたり純資産	1,191.44円	1,293.75円	1,351.06円	1,407.02円
1株あたり配当金	※10.00円	15.00円	20.00円	23.00円
配当性向	11.5%	13.4%	27.5%	30.3%

※) 2016年7月21日付で株式1株につき4株の株式分割を行っております。  
 上記は当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の1株あたり指標の推移を記載しております。



# 2019年10月期計画 業績見通し

---

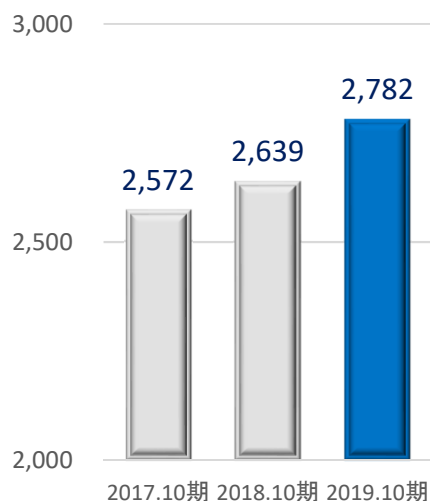


# 2019年10月期 業績見通し（連結PL）



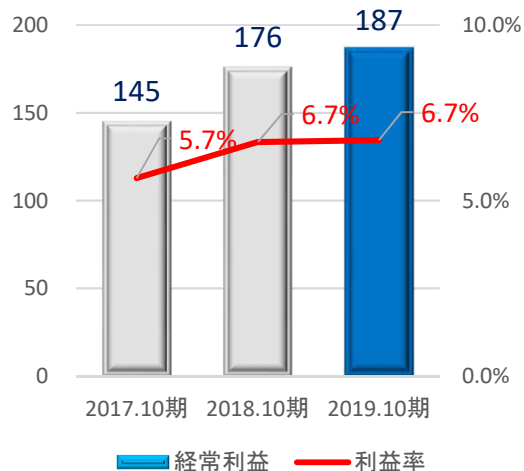
## 《連結売上高》

単位：百万円・%



	2017/10期	2018/10期	2019/10期		前年同期比 増減率
	実績	実績	第2四半期	見通し	
売上高	2,572	2,639	1,358	2,782	5.4%
営業利益 (営業利益率)	151 5.9%	173 6.6%	76 5.7%	187 6.7%	8.3% -
経常利益 (経常利益率)	145 5.7%	176 6.7%	76 5.6%	187 6.7%	6.0% -
親会社株主に帰属する 当期純利益	102	109	45	116	5.8%

## 《経常利益・利益率》



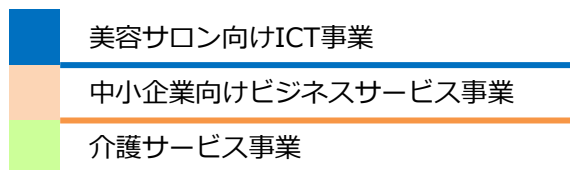
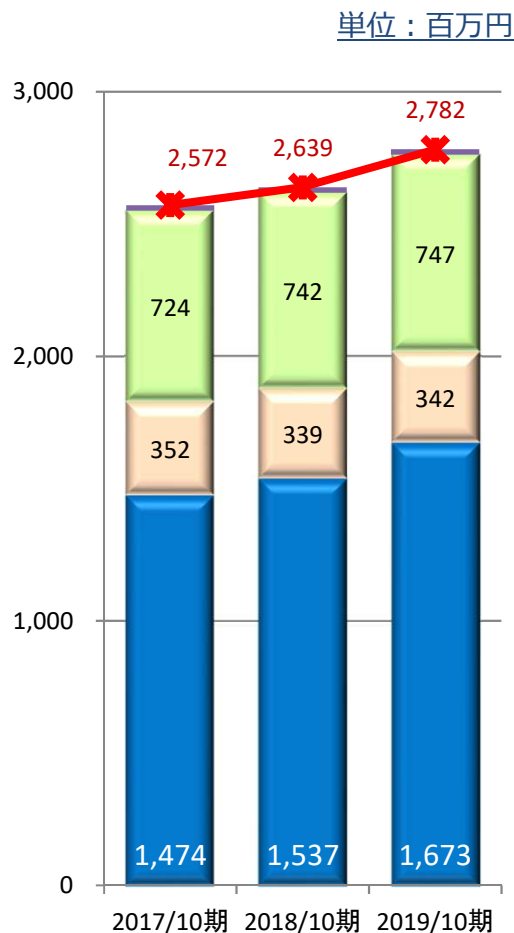
- 2019年10月期は、売上高 **27億円（前期比+5.4%増）**、経常利益 **1.8億円（前期比+6.0%増）** を予想しています。
- 既存事業の安定成長と、新たな収益源による売上を伸ばしつつ、さらなる成長を見据えた仕掛け・投資を行います。
  - ・開発体制強化・速度強化のため人件費・外注費増
  - ・営業・サポート体制強化のため人件費・販促費増
  - ・販促・広報活動の強化





## 《セグメント売上高》

単位：百万円



	2017期 実績	2018期 実績	2019期 見通し	前期比 増減率
美容ICT事業	1,474	1,537	1,673	8.9%
ビジネスサービス事業	352	339	342	0.7%
介護サービス事業	724	742	747	0.7%
その他	20	20	20	-
	2,572	2,639	2,782	5.4%

### ■ 美容サロン向けICT事業

- VID社との相乗効果、小規模マーケットへの積極的参入。
- サロン顧客向け楽天ポイントの普及ビジネス（代表加盟店方式）の推進  
課金型ビジネスの新たなビジネスモデルとして初年度目標を必達。

### ■ 中小企業向けビジネスサービス事業

- 他のセグメントとの相乗効果として、美容サロン・介護施設の顧客獲得
- ICT専担人材の確保と育成。

### ■ 介護サービス事業

- 2021年度介護保険大幅マイナス改定（減収）への対策プランを策定。
- 施設リニューアル計画の実施と、増床計画（=増収）の見通し。
- 介護予防事業推進等の他の施設での開設準備



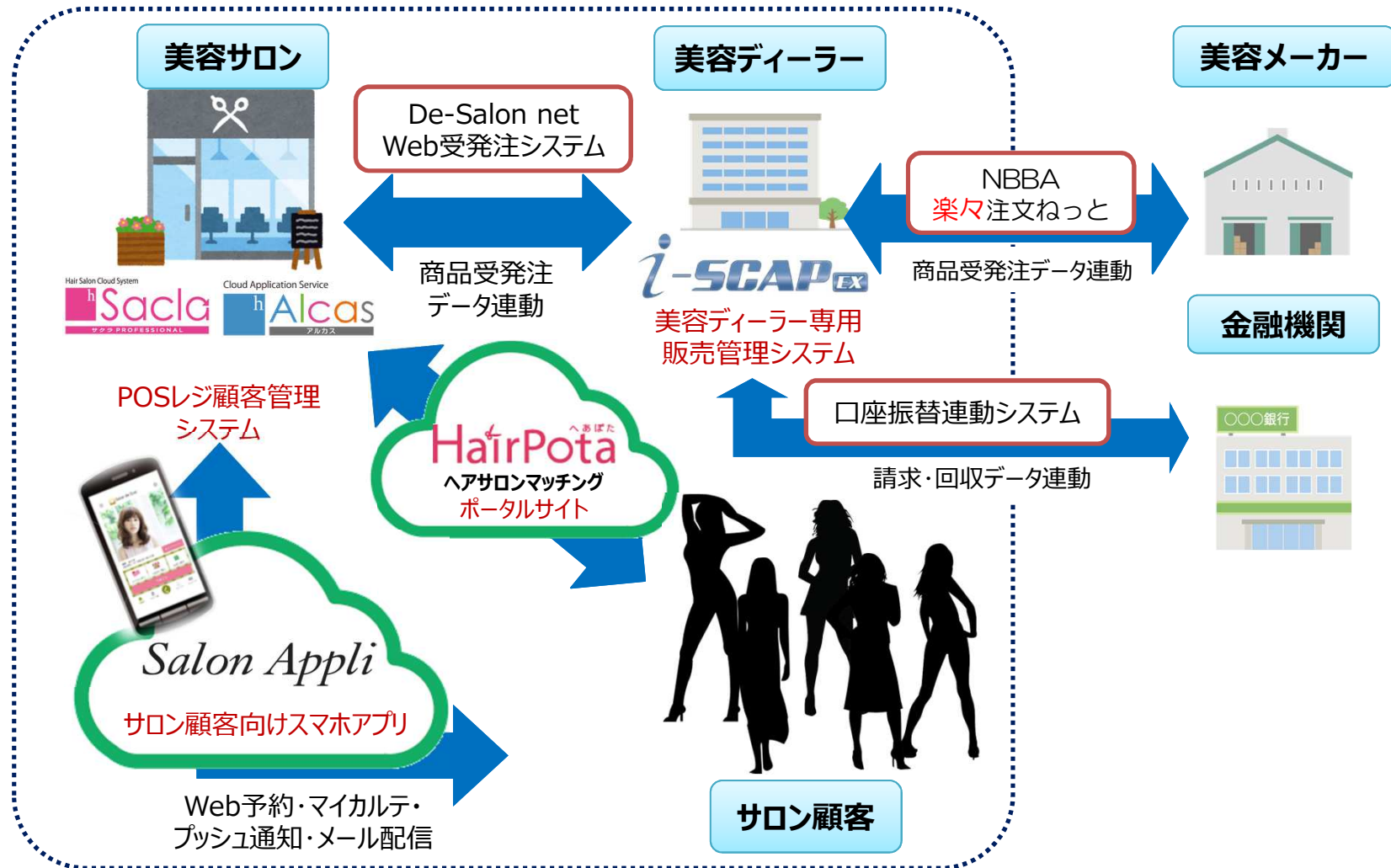
# 2019年10月期計画

---

## ①美容サロン向けICT事業



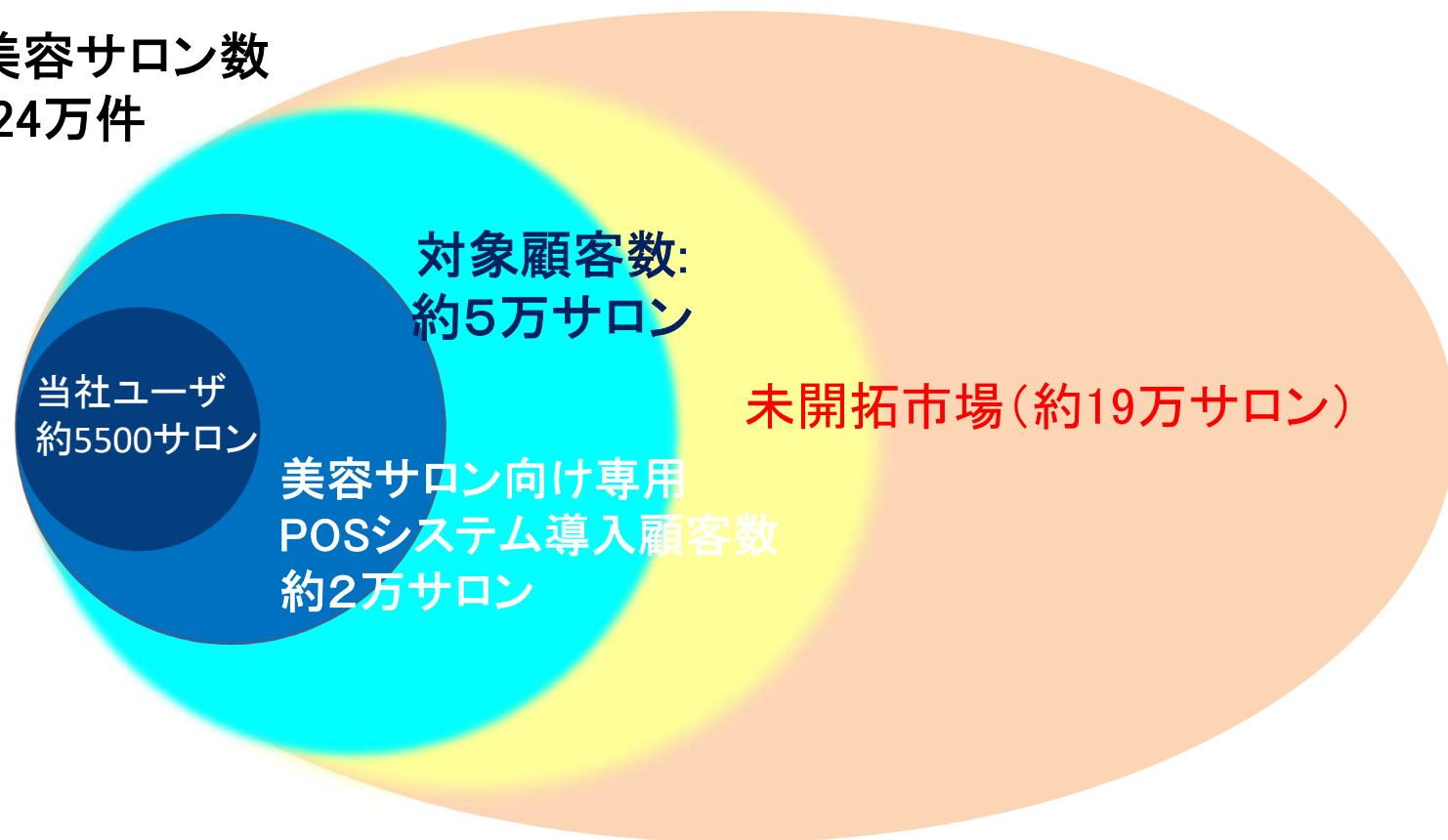
## サロン顧客⇔美容サロン⇔美容ディーラー⇔美容メーカー をつなぐ「ワンストップ・ソリューション」





## ■ 美容サロンICTビジネスでのローエンドマーケットへのアプローチ

全国の美容サロン数  
約24万件



注1. 全国の美容室サロンは、厚生労働省「衛生行政報告例」より抜粋

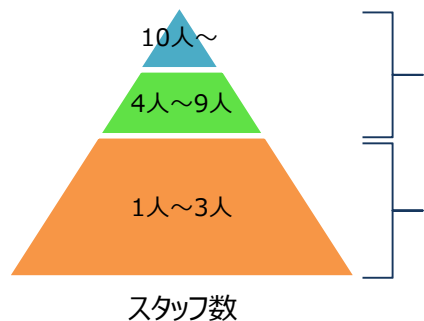
注2. 対象顧客数(22%)は、厚生労働省「生活衛生関係営業実態調査報告書」より全事業所数に占める法人(株式会社、有限会社)割合のうち平成22年度(施設総数673件中、法人経営151社:22.4%)を参考に算出

注3. 当社シェア約5,500サロンは、2018年10月末現在

注4. 美容サロン向け専用POSシステム導入顧客数は、業界動向より当社推計



## 《サロンPOSソリューション事業》



従来のターゲット

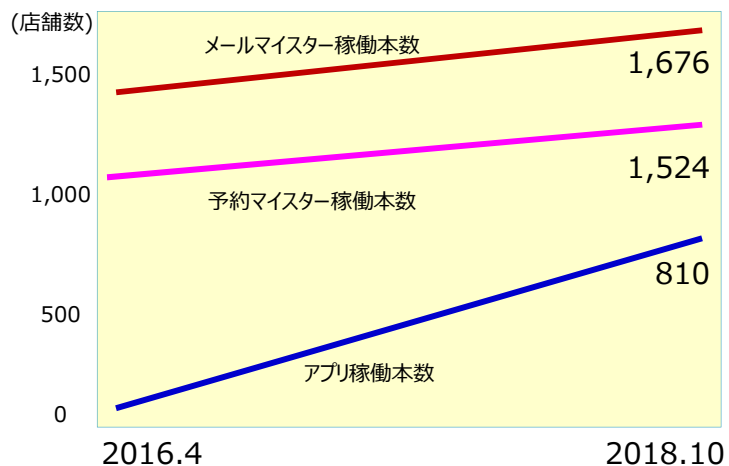
シェア拡大を目指す



ローエンドマーケットの開拓



## 《サロン向けWEBコンテンツサービス事業》



## 《サロン顧客向けコンテンツサービス事業》

アライアンスの推進！

楽天ポイント



2019年春頃 START!

サロンのメリット - 店舗で楽天ポイントが使用できることにより店販商品の購入やプラスオン技術が増え客単価UPに貢献できる

TBCSCATのメリット - ポイント付与による収入が大幅に見込める

サロンアプリダウンロード数：36万件超



## 《サロンPOSソリューション事業》

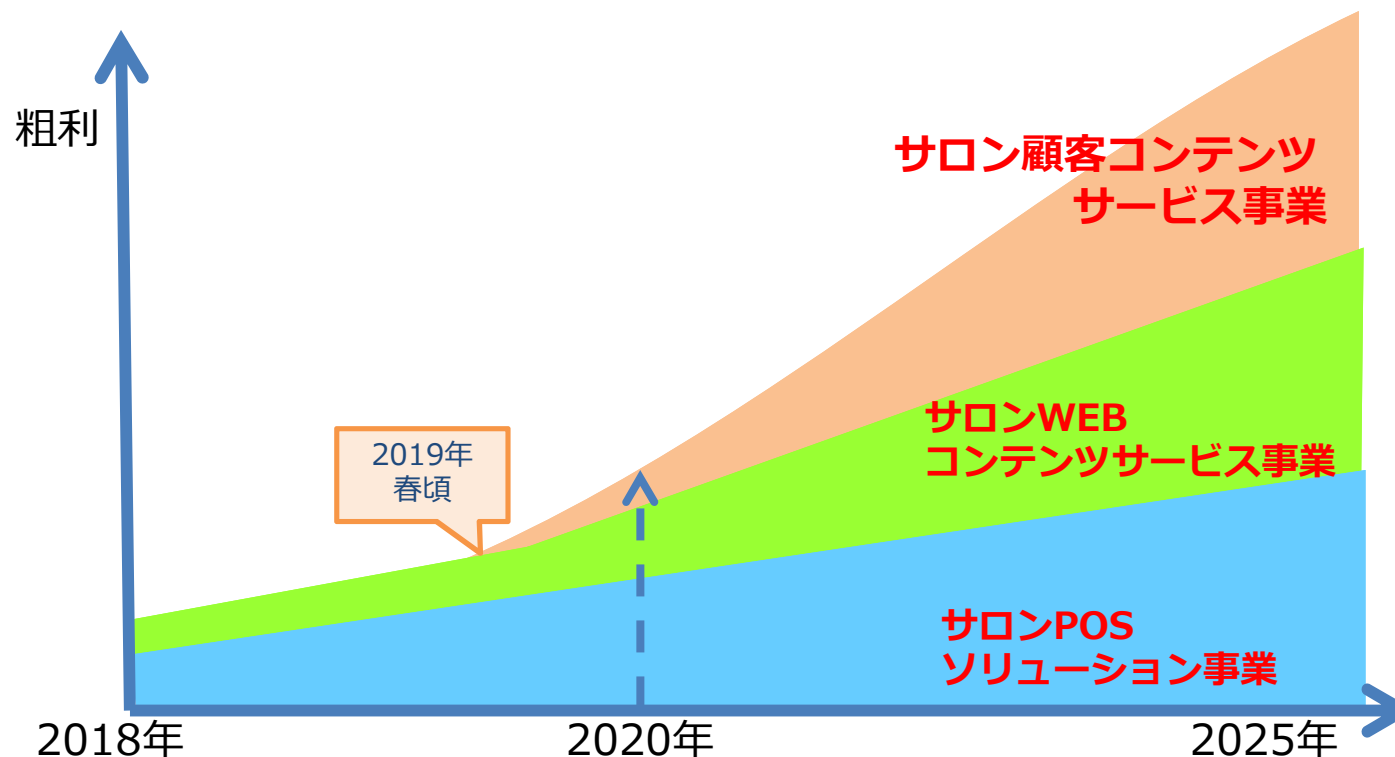
- ◆VID社子会社化による相乗効果（ローエンド市場の開拓）
- ◆最新アーキテクチャー採用によるリニューアル型バージョンUP計画

## 《サロン向けWEBコンテンツサービス事業》

- ◆課金型ストックビジネス推奨による事業収益の安定

## 《サロン顧客向けコンテンツサービス事業》

- ◆外部WEBコンテンツサービス企業とのアライアンス
  - ・美容サロン顧客への楽天ポイント導入





# 2019年10月期計画

---

②中小企業向け  
ビジネスサービス事業



## 中小企業向けビジネスサービス事業

中小企業向けに会計サービスを中心とした経営支援事業を展開

- 経理代行
- 事務代行
- 決算代行
- 給与計算代行
- 会計ソフト
- リモートサービス



## 重点項目：美容ICT事業とのアライアンス

《美容サロン向けビジネスサービスの提供》

### 開業支援

- 新規開業時の会計システム導入支援
- 新規開業時の補助金・助成金申請支援

### サロン経営支援

- 軽減税率対応支援（補助金等）
- 各種補助金・助成金申請支援
- 経営分析サービス







# 2019年10月期計画

---

## ③介護サービス事業



## 高い入居率を支える高い運営効率とオペレーション

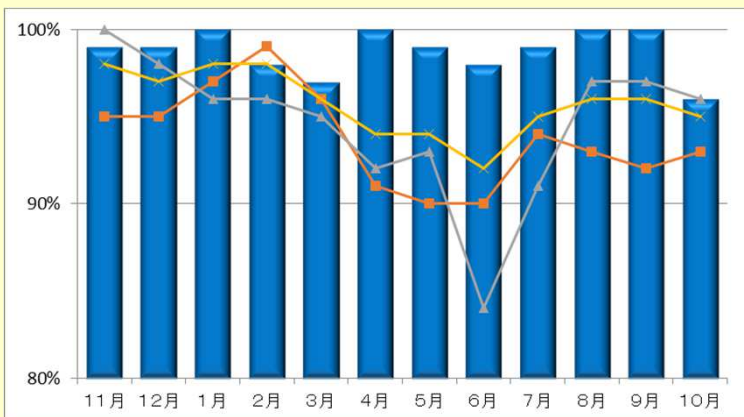
- 家族会・口コミによる高い施設評価
- **入居一時金なし**による入居しやすいシステム



- お客様が**やすらぎ**と**活力**を感じられる施設運営
- 働きやすい職場環境・施設

### 高水準の入居率

特定施設入居率：今期平均**95.0%**



### 運営効率とオペレーション

優れた介護は、**良質な職場環境** から

- **週休3日制の導入**  
→離職率の改善  
当社：**13.5%**（※2007年21.6%）  
（2016年全国平均：16.9%）
- **有給取得率向上**  
当社**78.2%**（全国平均：50.2%）
- **ITの活用**  
音声入力システム導入（事務効率化）



## 介護業界

- 介護業界内外の多くの事業者が参入し、競争が激化。  
→ サービス面や体制面で、事業者格差が生じている。
- 介護施設立上げのための初期投資費用が、他の事業に比べて大きい。
- 介護保険法改正に伴う介護報酬改正（通常3年毎）による対応。
- 介護サービスは、有資格者によるサービスが義務付け  
→ 市場拡大に伴い、優秀な人材確保が難しい。（リクルートコスト増）

困っている経営者・経営不振に陥る介護施設が増加する傾向あり！？

## 中長期

当社の運営・管理ノウハウによって、改善が見込まれる施設を支援  
→ コンサル・FC展開・M&A への取り組み



## 《本資料に関する注意》

- この資料に記載された内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本資料において提供される情報は、「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本資料に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

### IRならびに本資料に関するお問合せ先

IR責任者： 常務取締役 経営管理本部長 古澤 誠一

IR担当者： 経営企画室 室長 高橋 栄

E-mail : ir@tbcscat.jp

電話 : 03-5623-9670

# 株式会社 ティビィシィ・スキヤット